

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟
 〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17
 電話・FAX (082) 296-5597
 E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp
 URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>
 郵便振替口座 01380-6-37958

コンプライアンスの遵守

日山協、マナー向上を図るため指導要請

日本山岳協会会長神崎忠男名で下記のような文書が平成 24 年 8 月 8 日付で来信しました。コンプライアンスの遵守と登山マナーの向上を訴えるものです。

「暦の上では立秋を迎えましたが、各地の山々では夏山シーズンたけなわの状況にあり、今年も遭難事故が多発しております。

そのような中、登山、キャンプ、クライミングにおけるマナーやモラルに関する苦情が最近、本協会に多く寄せられております。

苦情のほとんどは、①登山道、岩場、キャンプ場等での不法行為と②登山者やクライマーの気まま勝手な振る舞いに対する、地権者やそこに居合わせた良識ある人たちの怒りです。

自然の素晴らしさを満喫し、仲間内で盛り上がるのも結構ですが、その前に、コンプライアンスを遵守し、周りへの配慮を忘れてはなりません。

登山者もクライマーも社会の一員です。社会通念から逸脱するような行為は厳に慎み、不法行為があれば、互いに注意しあい慎むべきです。

ご承知のように、本協会は「公益法人への移行」をめざしておりますが、法の遵守、コンプライアンスの遵守は、法人としての基本的な義務であり、こうしたコンプライアンス違反やマナー違反は、登山、クライミ

ングの社会的な地位の低下をもたらすだけでなく、本協会にとっても看過できないものであります。つきましては、貴傘下の加盟団体はもとより、一般登山者やクライマーに対して、コンプライアンスの遵守およびマナーの向上を図るため、なお一層ご指導頂きますようお願い申し上げます。」

山岳・辺境文化セミナー2012

第一部 講演

写真家 石川直樹氏

第二部 お楽しみ抽選会

日時：2012年10月13日(土) 開場 13:30

場所：広島県健康福祉会館 南区皆実町 1-6-29

受講料：2,000 円 (高校生 500 円・中学生以下無料)

山岳連盟加盟団体のメンバー及び個人会員は半額

「私の百名山」心惹かれた一景 その 5

広島三峰会 会長 小方重明

北関東(続)

12. 朝焼けに映える山上湖 (苗場山 2145 m)



山上湖の夜明け 撮影：2006. 10. 18



天上の苗田 撮影：2006. 10. 17

和田小屋から山道に入った。ダケカンバやカエデなど全山紅葉に彩られて美しい。やがて苗場山の肩まで登って目の前が開けて驚いた。

この世とは思えない光景が展開した。二千メートルを越えた天上に、見渡すかぎり高層湿原が広がり池塘(ちとう)が無数に点在しているではないか。まるで天上の苗田のようだ。まさに山岳写真家の三宅修氏が言う、不思議な天上の“神々の田圃(たんぼ)”の世界だ。

翌朝、山小屋を飛び出し池塘の前で三脚を構えて御来光を待った。やがて山上の湖面がピンク色に染まった。一刻、鮮やかに変化していく夜明けに陶醉した。

13. 魅惑的な白骨樹 (奥白根山 2578 m)



妖しく立つ白骨樹 撮影：1993. 10. 9



斜光 撮影：1993. 10. 9

昼過ぎに奥日光の湯本温泉から山に取り着いて、3時間半を費やして前白根山 2373 メートルまで登りきった。すでに夕暮れが迫っていた。

振り返ると、前白根山の頂だけがポッと赤く照らされて染まり、寒々とした白骨樹が魅惑的な妖しさと立っていた。一刻、寒さに震えながらたたずんだ。

登って 撮って 記録して

一日本百名山半世紀 小方重明さん出版

日本百名山を登頂した小方重明さん(広島三峰会会長)が「登って 撮って 記録して一日本百名山半世紀」(2012・8・1 発行 211 頁)を刊行した。小方さんは中国新聞HPに「私の百名山」を連載(3年間72回)し、読者にはおなじみの方も多と思う。

日本百名山の内、64 座が写真入り(カラー含む 360 枚)で紹介されている。岳連に寄贈いただきました。岳連文庫で閲覧できます。

第 36 回日山協自然保護委員総会報告**大会テーマ 「山はみんなの宝だ」**

20 県から 87 名参加

**自然保護指導員 森 智昭**

日時：平成 24 年 9 月 8 日 (土) ～9 日 (日)

場所：北海道上川郡美瑛町 国立大雪青少年交流の家

主催：(社) 日本山岳協会 主管：北海道山岳連盟

大会のテーマ「山はみんなの宝だ」のもと全国 20 県より大会役員を含め 87 名の参加者を得て開催された。総会は日山協の神崎会長の挨拶、主管代表の北海道山岳連盟の石倉会長挨拶ののち、議長選出が行われ議題に入った。

まず、日山協自然保護委員会より事業報告、続いて各県の活動状況について各県の代表者より報告があった。今年は事前に報告事項の提出要請がされており、資料が配布されていたため、各県とも 2～3 分の持ち時間で概要の説明のみとなった。活動報告はおよそ 1 時間で終わった。

続いて大会スローガン「山はみんなの宝だ」の説明が主管者からあり、採決により、全会一致で採択された。

「山はみんなの宝」憲章 全国に呼びかけ

次回総会の開催地については、現在申請中の公益法人化が 10 月に認可される見通しになったため、来期は日山協の記念すべき年となる。よって、本部のある東京都が主管して総会を開催することとなった。

なお、現在日山協で憲章制定委員会をつくり制定作業を進めている。「山はみんなの宝」憲章については

現在全国に呼びかけて賛同者を募っており、準備が整い次第来年 3 月ごろ制定決起大会を東京で開く計画という。各県の山岳連盟におかれても会員の方々に呼びかけて賛同者を一人でも多く募るよう要請があった。

各県の報告事項の中で、今後検討してみてはどうかと思った点は、つぎのとおりである。

- 1、行政機関との連携 (補助費制度の活用等)
- 2、他の団体との連携 (他の山岳関係団体、同好会、観察会、インストラクター、町内会等)
- 3、地元との協力
- 4、隣県との交流
- 5、勉強会の開催 (水、土質、気象、植物ほか)
- 6、会員増の対策 (山の人口増は若い女性が主流)

いづれにしても私たち自然保護指導員だけでは何を実施しても限界がある。私たちは火付け役であり、一般の登山者を如何に多くまきこんで保護活動が出来るかであると思う。そして保護活動の輪を如何に広げていくかにかかっていると思う。

自然は未来への預かりもの

自然は今生きている人だけのものではなく、未来への預かりものであることを忘れないよう肝に銘じたものである。

総会の後、「視察巡検」として全員十勝岳火山砂防情報センターを見学し、帰路は火山噴火時の避難通路を体験歩行し宿舎のある大雪青少年交流の家に帰館した。



写真は自然保護委員会総会の様子

山の風景 21 大雪山系 (北海道)

ヒサゴ沼からの登り 一路トムラウシ山へ
2012・7・16 写真提供 森 智昭

**岳連短信**

- 1、福山山岳会会報 平成 24・9 発行 5 p
- 2、ひこばえ 7 5 2012・7・1 発行 8 p
- 3、J A C Hiroshima 日本山岳会広島支部
第 44 号 2012・7・1 発行 32 p

寄贈有難うございました。

4、第 12 回福山市民ウォーキング大会

場所：山手町、津之郷町一体

日時：2012 年 10 月 14 日 (日) 小雨決行

集合場所 A コース備後赤坂駅 10:00

B コース三本松河川敷駐車場 6:00

参加費：一人 300 円

申し込み：はがきまたは F A X で 10 月 6 日まで。

福山山岳会事務局 T E L & F A X 084-925-2812

5、平成 24 年度**中高年安全登山指導者講習会「西武地区」**

趣旨：中高年の体力等に応じた登山の知識や技術について習得するとともに研究協議を行い、中高年登山指導者の養成と安全な登山の普及を図る。

主管：愛媛県山岳連盟

期日：平成 24 年 10 月 12 日 (金) ~ 10 月 14 日 (日)

開催地：愛媛県松山市、東温市及び久万高原町 (開閉講式・講義及び宿泊場所 道後にぎたつ会館)

開催要項の詳細は岳連事務局 082-296-5597 までお問い合わせください。

6、安芸太田町森林セラピー拠点に認定

安芸太田町は 3 月 23 日、科学的データに基づき心身への効果が見込める森林浴「森林セラピー」の拠点として認定された。県内でははじめて。N P O 法人森林セラピーソサエティ (東京) が認定する「森林セラピー基地」。正式登録は 4 月 1 日付。安芸太田町は、まず森林セラピーロードとして龍頭峡、三段峡、深入山、恐羅漢山麓の 4 コースを新年度中に整備する。全国の認定件数は 4 4 件。中国地方では山口市、岡山県新庄村、島根県飯南町、鳥取県智頭町が認定されている。

7、あさきた里山マスターズの会

日時：平成 24・10・6 (土) 13:30

場所：安佐北区役所 4 階講堂

内容：①山登りの話題や活動したいことなどの意見交換 ②安佐北区役所からの説明 (事業内容やお願い)

問合先：安佐北区地域おこし推進課 (西村・多森)

電話 0 8 2 - 8 1 9 - 3 9 0 5

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

題字デザイン 今村みずほ **編集** 仲井正美